

2021年11月30日(火) 静岡市民文化会館 中ホール 14:00 開演(13:30開場)

STAGE

SHIZUOKA 劇

【ご観劇料金】前売 5,000円 当日5,500円 (全席自由)

【主催】前進座90周年山田洋次『一万石の恋』を観る静岡の会 【お申込み・お問合せ】054-287-1293 (静岡県評内 担当/野村昭二) 054-202-3115 (年金者組合静岡県本部)



監修=山田洋次 脚本=山田洋次·朱海青 演出=小野文降



「男はつらいよ」寅さんシリーズでおなじみの山田洋次監督が、 コロナとたたかう日本中の皆様にお届けする舞台最新作!

古典落語「妾馬」を題材に、長屋の娘に片想いするお殿様の、ちょっぴり切なく、とびきり可笑しい、「恋の不時着」物語。 ハチャメチャな長屋の住人の価値観と愛を貫く娘の真心がぶつかって、、地腹・絶倒の喜劇。诞生!



















汗をかこうと思う。

北澤知奈美

江林智施

柳生啓介

河原崎國太郎

藤川矢之輔



益城孝次郎



山崎辰三郎

が題材だが、この『一万石の恋』では落語とは真逆の





愛



有田佳代

れる」と盛り上がる。

屋一同も「大変な出世だ」「支度金がたんまり下さ 抱えろ!」。話を聞いたお鶴の母や兄をはじめ、長



新村宗二郎



藤井偉策

同士の甘いラブシーンに、胸をワクワクさせてほしい。

長屋の井戸端で交わされる可笑しな会話や、恋人

そして、マスクの下から思わず漏れる笑い声で会場が

満たされることを期待して、前進座の皆さんと一緒に

そして無責任な長屋の住人たちが、ドタバタ騒ぎを 覚悟の乙女の宣言に、愚かな殿様やアホな家臣たち、 結末が待っていて、愛する人のためには命を投げ出す

演じることになる。





新しい物語を生み出すこととなった。古典落語「妾馬 この秋、前進座の皆さんと再び 演劇人を苦しめ続けている。 くなるという、異様な事態が 芝居を、ステージに乗せられな そんな状況下でありながら、 一生懸命準備した大切な

山田洋次監督からの

命がけの恋を前に、周りの説得も無力。しかしお断 あがった長屋一同が窮地を脱するべくひねり出 りしたらどんなお咎めを受けることやら… 震え 「あの人と一緒になれないなら私は死ぬよ!」— ところがお鶴には将来を約束した若者が…。 女嫌いの芝居好き。今日も今日とて江戸藩邸で、お 万石の弱小藩のお殿様・赤井御門守国定は、あかいこもんのかみくにさだ

●あらすじ

惚れ。家臣たちは大喜び―「すぐさまあの娘を召し の水を差しだした長屋の娘・お鶴に、お殿様は一目 羽目に。「これ手水を持て!」… おずおずとひしゃく し、掃き溜めのような裏長屋で粗末な厠を借りるそんなある日、お殿様は下城途中で腹痛をおこ なく、藩はお取り潰し…家臣たちは頭が痛い。 小姓相手に芝居ごっこ。このままではお世継ぎも

後援

静岡市・静岡市教育委員会・テレビ静岡・静岡第一テレビ・朝日新聞静岡総局 読売新聞静岡支局・毎日新聞静岡支局・中日新聞東海本社・静岡新聞社・静岡放送

前進座創立90周年記念『--万石の恋』 静岡公演に賛同します(五十音順)

阿部浩基(弁護士)・大多和暁(元静岡県弁護士会会長)・大橋昭夫(弁護士) 萩原繁之(弁護士)・榛葉悦郎(平和委員会代表委員)・原田唯司(静岡大学名誉教授) 静岡県労働組合評議会・静岡市民劇場

新日本婦人の会静岡県本部・全日本年金者組合静岡県本部

G SHIZU

デザイン=市川きよあき事務所 音楽=中島千絵 装置=中嶋正留 効果=川名あき照明=石島奈津子 イラスト=斎藤美奈子ボツフォード

制作=楠脇厚子・森田